

夕報 警城時報

日七十
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金貳拾圓
廣告料一行十二字貳拾五字
日刊(日曜祝祭日)五日休刊

戦死と諦めてゐた 小野君から便り

夢かと思ふ遺族

小名濱町宇米野出身角部あると。
隊上等兵小野恒雄君は去る
十二月二日上海戦線で名譽
の戦死を遂げた旨公電があ
つたので遺族である實兄豊
太郎氏始め一同が悲嘆して
ゐた。遺族日前恒雄君から
支那の正月は酒が大いに
飲めて愉快だったが併し
不足なのは遺憾であつた
といふ意味の手紙が来たの
で生存してゐる事が判つた
ので原隊その他に紹介中

白衣の 勇士凱旋

勇猛果敢な攻略戦で名譽の
戦傷を負つた白衣の勇士二
十一名は十五日午後凱旋、
若松陸軍病院に入つた。郡
内関係者左の如し
上遠野村伍長矢濱好夫、
山田村一等兵佐川百藏

石井、早川兩勇士 無言の凱旋

昨十六日午後二時着にて
四倉驛頭空前の盛況

大野村宇山歩兵上等兵石井勇士の遺骨は假祭殿に安置
井康太郎君並に大浦村宇上せられ神佛に依つて式を行
仁井田早川泰道君歩兵伍長なられた午後三時各生家
の二名の遺骨は昨十六日四に無言の凱旋をなしたが、
倉驛午後二時三十分の列早川伍長は来る二十一日午
車にて無言の凱旋をなした。後一時より大浦村小學校庭
が、驛頭には兩村々々議員に於て村葬を営むことに
各種団体、四倉、大野、大決定した。尙大野村石井上
浦の各小學校生徒、一般民等兵は来る二十三日午後零
等四千名の出迎を以つて驛頭三十分より大野第一小學
前の廣場を埋められた、兩校講堂に於て村葬を営むこ

上海から

大竹 庫

昭和十三年元旦を誠に目
出度く迎へた。戦地にあ
るだけ特別気分は満ちて
あつた、天気も上乘、酒
も十二分、勤務も本
當にのんびりと支那にあ
てである。

前借踏倒し 常習の酌婦

懸賞金付で捜索

勿來町酒井字出倉幸壽長女が助川驛に荷物があるから
當時茨城縣助川町榮町料理と同女を伴つて出たきり行
業初榮事皆川はつ方抱酌婦術を誨し途中三十歳の謎
篠原はる子(二)は前借六の男が同伴して居り計劃的
百圓を踏倒して逃走中のも前借詐欺であるらし、尙ほ
の抱主方では懸賞金百圓同女は戸籍の行違ひから二
を附し目下各署に手配搜索ケ所に本籍を有し神奈川縣
中であるが、同女は去る四茅ヶ崎南郷下町秋山信次郎
日午前十時頃訪れた同女の四女ハルノともなつてゐる
姉と稱する三十歳のもの

平商工會議所 設置の打合せ

平商工會では一昨十五日午商工會議所建設の第一回打
後七時からマルトモホール合をなした外應召商工業
に於て本年度初の役員會を者の營業保護並に舊正二日
開き新興商業都市の新施設市について協議した。

平市と好問一部に 市街地建築物法適用

平署で近く指示

平市及び好問村の一部(警定められた建築線から建物
越東線以東)に對し今月十日が少しも出ることが出来
二日の官報で来る二月一日のみでなく居室、地階
より市街建築物法を適用し床の高さ、階段の高さ、天
右の區域を同法施行規則第百九條の高さ、外壁間壁に一々
百四十九條の二規定により制限を置かれるもので、前
指定することを告示された記施行規則第百四十九條の
ので平署では近く各戸所有二には左記を示されてゐる
地方長官が特別の事由ありと認め内務大臣の認可
を受けたる時は指定の地
域に建築物の指額、地域
を指定の一部及全部を適
用するを妨げず

仙講で郵便科生募集 試験は來月十二日

仙臺通信講習所では例年の
如く來る一月三十一日願書
締切りで郵便科講習生約七
十名を募集することになつ
た、右の資格者は満十五歳
以上二十歳以下の男子で身
体健康なもの、試験科目は
二月十二日管下に於ける數
ヶ所の試験所に於て一齊開
始される管で第一日は算術
豫備身体検査
第二日の十三日に地理、
歴史、作文、第三日の十
四日に適性検査、人物考
査
程度は高等小學校卒業であ
つて受験の場所は左記の如
く志願者は自筆の履歷書に
希望試験地並に實習地を申出
でること、授業開始は四月
一日、講習期間八ヶ月
▲試験場所 仙臺通信講
習所、山形郵便局、青森
酒田、秋田、平、盛岡、
郡山の各郵便局

四倉信組總會

保證責任四倉信用販賣購買
利用組合の第十七回通常總
會は來る二十三日午後一時
より小學校講堂に於て開催
し左の件を附議する。
一、昭和十二年財産目録、
貸借對照表、事業報告並
に剩餘金處分案承認の件
二、昭和十二年度に於ける
借入金限度決定の件
三、昭和十二年に於ける最
高限度決定の件
四、諸積立金を事業資金に
運用の件
五、販賣品歩合金決定の件
六、余裕金預け先決定の件
七、理事式名補欠選舉の件
八、監事參事任期満了に付
選舉の件
九、信用評定委員二十四名
任期満了に付選舉の件
十、石双乾聯組合聯合會に
出資六口加入の件
十一、産業組合擴充三ヶ年
計劃書決議に關する件
十二、定款變更の件
以上

赤井村長 決

赤井村では十五日村長推薦
の村會を召集、草野三郎氏
を決定、更に近く助役の推
薦を行ふが地理的見で前助
以上二十歳以下の男子で身
体健康なもの、試験科目は
二月十二日管下に於ける數
ヶ所の試験所に於て一齊開
始される管で第一日は算術
豫備身体検査
第二日の十三日に地理、
歴史、作文、第三日の十
四日に適性検査、人物考
査
程度は高等小學校卒業であ
つて受験の場所は左記の如
く志願者は自筆の履歷書に
希望試験地並に實習地を申出
でること、授業開始は四月
一日、講習期間八ヶ月
▲試験場所 仙臺通信講
習所、山形郵便局、青森
酒田、秋田、平、盛岡、
郡山の各郵便局

公會堂上棟式

平市の公會堂上棟式は來月六、
十日頃舉行されるので來る七、
十七日午前十一時から委員八、
理事參事任期満了に付
選舉の件
九、信用評定委員二十四名
任期満了に付選舉の件
十、石双乾聯組合聯合會に
出資六口加入の件
十一、産業組合擴充三ヶ年
計劃書決議に關する件
十二、定款變更の件
以上

豐間收入役 菊地氏重任

豐間村収入役菊地晴雄氏は
今月末で任期満了となるの
で村では十七日午前九時か
ら推薦村會を開いたが菊地
氏再選と決定した。
▲各種豫算委員會 平市水
道委員會を十八日午後二(二)
二)は十五日午後四時頃

昨年中の 映畫入場者

平署管内昨年中各種興行の
入場者で五十八萬三千百
七十一名
大人四四四、七四一名
小人一三八、四三〇名
なほ常設六ヶ所の入場者は
大人二八八、六六三名、小
人九七、九三四名、計三八
六、五九七名である。

落磐で惨死

赤井
村山口炭礦採炭夫宇都野實
道委員會を十八日午後二(二)
二)は十五日午後四時頃

廣告

文撰工 數名
解版工 數名
右至急募集す
御希望の方は
御來談を乞ふ
加納活版所

牛豚肉

平町田町
三三三三屋
電話三三三番

加納活版所

文撰工 數名
解版工 數名
右至急募集す
御希望の方は
御來談を乞ふ
加納活版所

